新田サドベリースクールのことは、とっとりインターンシップのサイトを通じて知りました。ここ1年以上、感染症の影響でどうしても引きこもりがちになり、対人コミュニケーションをとることに不安を覚えていたのですが、教育の現場に興味があったのと、大学生の間に様々な経験をしたいということで、勇気を出してインターンシップの申し込みをしました。

3日間参加してみて、新田サドベリースクールは自由で多様性あふれる学びの場だと強く感じました。子どもたちのスクールでの時間の過ごし方を3日間観察していたのですが、友達とゲームで遊んでいる子、友達と外で鬼ごっこをして遊んでいる子、一人での時間を大切にしている子など、時間の過ごし方は子どもそれぞれでした。こども一人一人が、その時、その瞬間にやりたいしたいことに夢中になっていました。その間、大人であるスクールのスタッフは、やさしく見守ったり、誘われたら一緒に遊んだりなど、子どもたちの時間の過ごし方の強制をするという事は見られませんでした。小学校や中学校など公教育における学びの場は、学びの到達目標を決め、そこに到達するまでに、覚えるまでに、何度も言い聞かせ、必要なら叱るといったような場面が多くあると思います。むしろ、このような学びの場が自分は当たり前だと思っていたので、スクールの中での子どもの学びは自分にとって新鮮で、その中に自由さと多様性を感じました。

また、自分以外の子どもを尊重できる子どもが多いなと思いました。まだ小さな子やスクールに来たばっかりの子は、どうしても自分の考えを優先的に率直に主張して、少し衝突を起こしてしまうというような場面が見られたのですが、年上の子やスクールに長く居るような子は、そのような場面で相手を慮り、譲ったり、言葉を選んだりするなどといった場面が見られました。自分以外の人を尊重することは、大人になってもできない人が多くいると思います。むしろ、できる人の方が少ないとも思います。このスクールに関して、子どもの基礎学力に関する批判があることなど、聞いたのですが、それ以前に一人の人間として、大事なことをこのスクールで学び、身に着けているのだと思いました。

インターンシップに参加してみて、自分自身が大きく成長できたと感じています。最初、対人コミュニケーションに不安を覚えていたのですが、子どもたちと時間を過ごしていく中で自然とそのような不安はなくなりました。引きこもりがちだったのですが、何事にもできる範囲で積極的に頑張ってみようという気にもなりました。子どもたちには感謝しかないです。3日間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。